

## 間欠泉の模型

間欠泉の模型を作ってみました。下の写真に示すが、丸底フラスコの部分をガスバーナーで加熱すると一定周期で熱湯が噴き出します。仕組みは図1の通りです。

ガラス管2本を組み合わせて作ってみました。実際の間欠泉では1本の管で構成されているものと考えられるので、水を供給するための地下水をイメージして図2のような装置を作ればガラス管が1本で間欠泉模型ができるでしょう。

自然現象に似せた模型を作ってみることでその仕組みを解明する手がかりが得られるかもしれません。



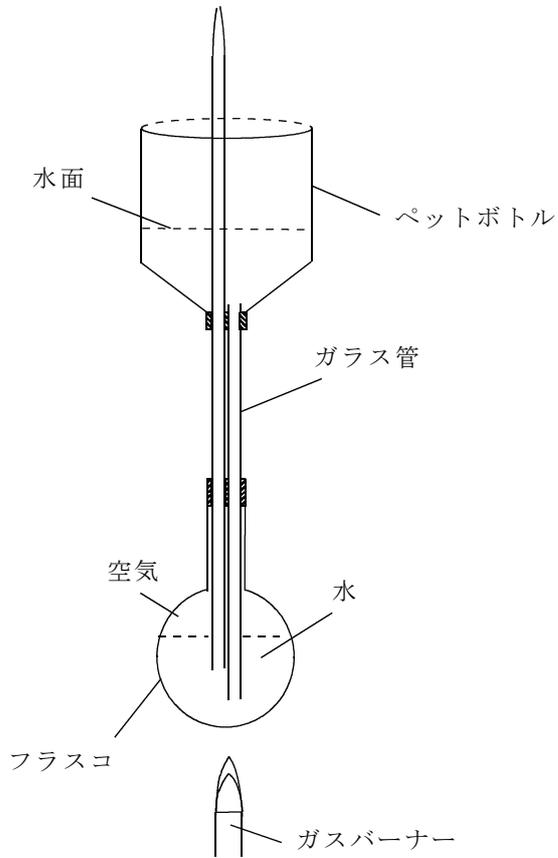


図1

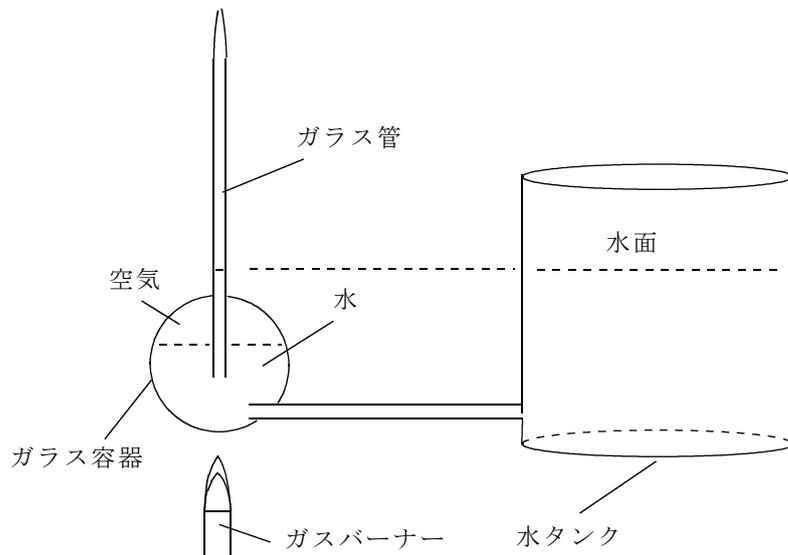


図2